



令和5年12月

Vol.5

廿日市市

地域学校協働活動 & コミュニティ・スクール だより

廿日市市教育委員会生涯学習課

今回は、高校生を学習支援ボランティアとして迎え「阿中寺子屋（放課後の自主学習）」に取り組んだ阿品台中学校、地域の協力により「ふるさと学習（総合的な学習の時間）」に取り組んだ原小学校の様子をお知らせします。

<阿品台中学校>

「勉強が分かるようになりたい」という生徒の思いを後押しする放課後の自主学習教室「阿中寺子屋」が阿品台中学校で今年度から始まりました。地域ボランティアに加え、新たに廿日市西高等学校の生徒3名を学習支援ボランティアとして迎えました。学校運営協議会の場で、地域ボランティアから廿日市西高等学校の校長先生に協力を依頼して、高校生の学習支援ボランティアが実現しました。

数学が分かるようになりたいと思い、自ら寺小屋で学習することを決めました。丁寧に指導してもらい、たいへんためになります。
(中学生)



中学校の時に、先生に教えてもらうことによって、苦手だった数学が分かるようになりました。そのことがきっかけで、将来、中学校の数学の先生になりたいと思いました。教えるという経験が将来に生きると考え、ボランティアに応募しました。
(高校生ボランティア)

阿中寺子屋の掟

- 一、自分と向き合うべし
(無言・自学・自分の課題)
- 一、他者の学びを尊重すべし
(他者の学び直しへの中傷等厳禁)
- 一、分からぬ時は、助けを求めろべし (静かに挙手し、支援者を呼び、教えを願う)
- 一、あきらめてはならない
(必ずできる日が来る)
- 一、この掟を守れぬ者は、去るべし

阿中寺子屋の掟

参加している生徒は、自らの意思で主体的に阿中寺小屋での学習に参加しています。そのため、いずれの生徒も「阿中寺子屋の掟」を遵守し、集中して問題に取り組んでいました。



<原小学校>

今年度、原小学校は創立150周年を迎えました。11月12日（日）に開催された150周年記念式典での発表会に向けて、総合的な学習の時間で「ふるさと学習」に取り組みました。

3年生から6年生までの全児童が縦割りで4つのグループに分かれ、「ふるさと原をもっと知ろう！」という共通テーマで学習を進めました。

神楽グループ

地域の方から教わった原に伝わる神楽の歴史や内容について発表するとともに「花舞」について実技指導を受け、発表会でその一部を演じました。



伝説グループ

スサノオノミコトに退治された極楽寺蛇の池の大蛇にまつわる伝説について地域の方から聞き取り、劇にして発表しました。



人形芝居グループ

広島県無形民俗文化財に指定されている朧楽座の人形芝居について地域の方から毎週指導を受けています。その一部を発表会で演じました。



料理グループ

地元で生産された豚肉や玉子、自分たちで栽培したサツマイモ、米などを使って原を題材としたオリジナルコース料理を考案し、レシピ等を発表しました。女性会の方に教わりながら調理しました。

発表会の後、児童の振り返りには、「原のことをたくさん知ることができてうれしかった。」など地域の方への感謝とふるさと原への思いが多く述べられていました。

また、保護者・地域の方からは、「ふるさと原再発見の発表、とても素晴らしかったです。」「なるほどそうだったのか！とあらためて原を知ることができました。」「これからも原の文化を守っていこうね！」などの感想が寄せられました。



廿日市市教育委員会生涯学習課

〒738-8501 廿日市市下平良一丁目11番1号

TEL(0829)30-9203 FAX(0829)32-5163



市ホームページ

(参考)コミュニティ・スクールについて(山口県教育委員会「地域連携教育」リーフレットより)

山口県教育委員会が、コミュニティ・スクールについて、漫画で分かりやすくまとめています。

「地域とともにある学校」って？ — お答えします! —

① こんにちは！ナビゲーターのコミスケです！
今、山口県の学校は変わろうとしています！

② みなさんは、「コミュニティスクール」という言葉を聞いたことがありませんか？

③ 聞いたことないー私に聞いたことあるやないからさ！

④ 簡単に言うと、学校・家庭・地域が一緒に子どもたちを育む仕組みのことです。

⑤ 今まで「学校」の活動だったことを、地域の方と一緒にやる新しい仕組みなんです。

⑥ これは学校のお手伝いにとどまらず、地域の方が教育方針や目標に積極的に関わることができるようになる新しい仕組みなんです。

⑦ ごもそれの意味あるの？
ありますよ！！
今こそ学校と地域が一体とならないといけない時代です。

⑧ 人口減少、ネット社会、環境問題

⑨ 子どもや孫たちが生きていく未来はどうか？
この地域は、高齢化が進んでいくの？

⑩ 未来を生きる子どもたちが、激しい社会の変化に対応するために、地域の方の知恵や経験が必要なんです。

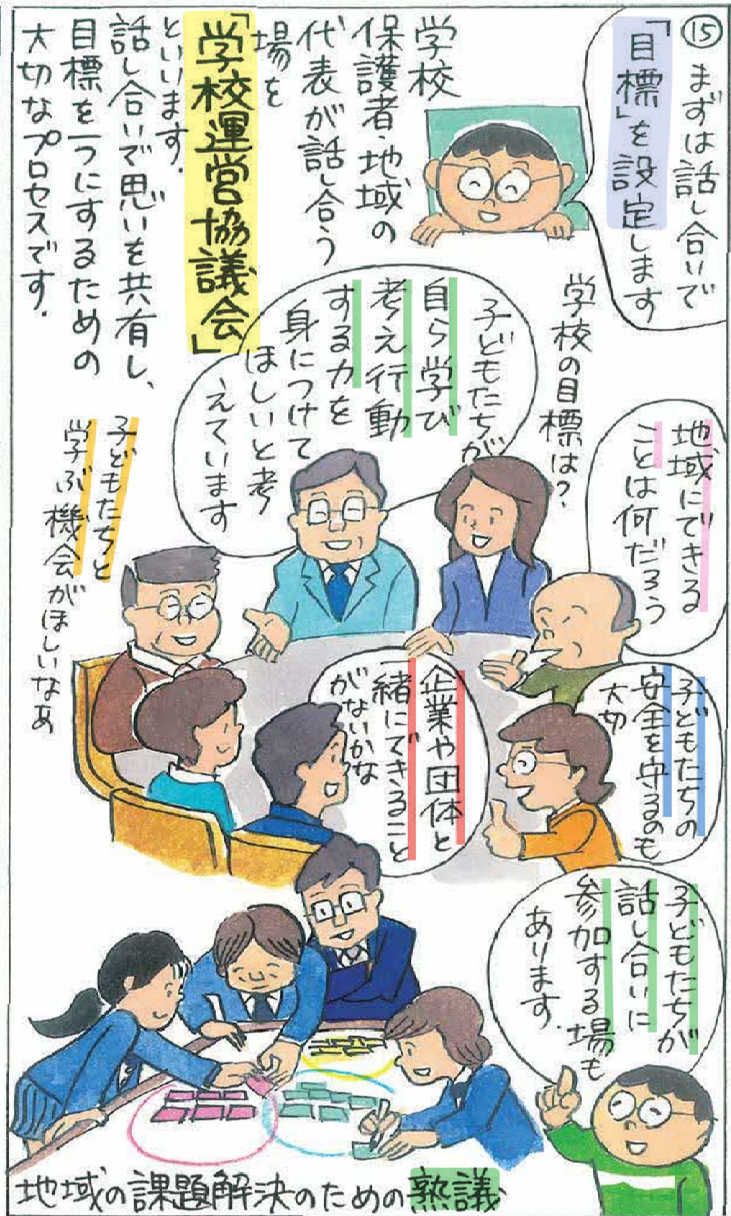
⑪ 子どもたちの未来のために……

⑫ それに子どもたちとつながりをもつことで、地域もどんどん元気になりそう！！

⑬ ぜひ参加してください！
私たちの特技、話下手です……

⑭ あなたを必要としている「つながり」がきっとあります！！

⑮ グローバル化・IT時代



※熟議：立場の異なる人々が同じ目的で議論を交わす場